



わたしたち「匠弘堂」は

代棟梁である岡本 弘に導かれ、

れまで『宮大工』として生きてまいりました。

れからも伝統技術の研鑽を積み、師匠の教えに則り

して、われわれだからこそできる。

八工としての使命をまっとうするべく精進し続けます。

江事の流儀

その先の未来まで。これまでの二十年と、





有限会社 匠 弘

堂



SINCE2001

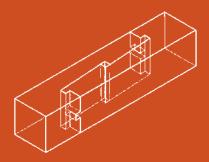


京都社寺建築

事工

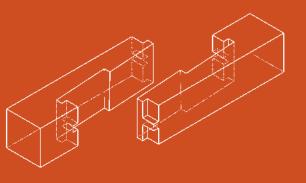
有限会社 匠 弘堂

〒601-1122 京都市左京区静市野中町413 ☎075-741-1888



-周年記念誌

その先の未来まで。これからもずっと続く、これまでの二十年と、



私と有馬には共通の人生の師がいました。

とを実感させてくれました。喪主を務められたご令嬢のやさしい眼差しの奥 緑一面の芝生を輝かせ、生命力あふれた入道雲と熱い空気が、生きているこ れ」とささやいているようでした。 しました。その日は晴天に恵まれ、照り付ける夏の日差しは眼の前に広がる 今夏の八月八日、師匠・岡本棟梁の七回忌の法要にはふたり揃って参列いた やさしい師匠の顔が重なってよみがえり、天国から師匠が「もっと頑張

岡本棟梁の十二の教え」を出版いたしました。仕事でお世話になっているす ただいたのを覚えています。私たちなりの師匠孝行ができてほっとしました。 べてのみなさんにお配りし、 の生きざまを、 起業して十年経った二〇一一年のこと、生涯、宮大工を貫いた師匠・岡本弘 私なりに記録しておきたいと強く思い、「十周年記念誌 十年の感謝を伝えました。師匠にも大変喜んでい

そして、あれからも早や十年が経過しました。

業して間もないころは大変ではありましたが、師匠・岡本棟梁がいてくれた 二〇二一年この年、匠弘堂が生まれて二十年を迎えることができました。起 大きな安心感のおかげで、 日々の仕事に没頭でき、 未知の不安を覆い隠せま

十年前と今との大きな違いは、 師匠・岡本棟梁がこの世にはおられないこと

をまとめました。 です。そんな起業二十年の本年、「二十周年記念誌 匠弘堂の仕事の流儀」

値観が大きく様変わりしている昨今、あえて変えないことを選択し、先人の 世の中に貢献しようとしているのか。地球規模で提唱される持続可能な社会 「十二の教え」を学んだひとりひとりが、宮大工の仕事を通じてどのように 本書『二十周記念誌』はお世話になっている方々への感謝とともに、天国に 教えを根幹として生きていこうと奮闘するメンバーのことを。 に向けての取り組みと、新型コロナウイルス感染による影響で社会情勢と価 いる師匠に向けての報告でもあります。師匠の教えをしっかり受け継ぎ、 ぜひ読んでほしいとも思っています。人がものづくりに勤しむ姿は、 精進している匠弘堂メンバーの姿を、天国の師匠に伝えたいと。 これから宮大工を目指したい、目指そうと思っている若い学生さんに 41

謝申し上げます。次の三十周年も笑顔で迎えられるよう、 最後になりましたが、 くお願い申し上げます。 せ精進していく所存です。これからも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、 匠弘堂を支えていただいているすべてのみなさんに感 社員一同力を合わ よろし

つの世でも神々しく、

心から美しいと感じる不変のものです。

5



二〇二一年 コロナ禍の京都にて

有限会社 匠弘堂

匠弘堂という社名

匠 ― 江戸時代以前、大工のことを「番匠」といいました。

弘 ― 初代宮大工棟梁「岡本 弘」より一字拝借。

堂 ― 「建物」という意味で用いました。

つまり「匠弘堂」とは

"宮大工棟梁 岡本 弘が建てた物"という意味なのです。

岡本棟梁の十二の教え

8

はじめに

匠弘堂主義

22

○ 企業理念・三つの力・七つの行動指針

匠弘堂の仕事力

33

われら、匠弘堂応援団

本興寺 貫首 小西日遶さまインタビュ

それぞれの仕事の流儀

53

二代目宮大工棟梁 有馬 茂

○「社寺建築と宮大工と私、そして設計のこと。」横川総一郎○宮大工〜設計室 匠弘堂スタッフ

「師匠・岡本棟梁のことを伝えた い 横川総一郎×有馬 茂

78

88

特別対談「継ぐこと、

続けること、

つなげること。」

○ 佐々木酒造 佐々木晃さま×横川総一郎

82 施工実績の一



見える所は当たり前見えない所ほど気配りをせなあかんそれが建物を強固にしていていると

仕事をせなあかん恥ずかしぃない

八目棟梁 有馬 节

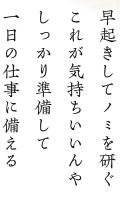
十二の教え



宮大工は見られるのが仕事

感動を届けることや しらの仕事は

己が感動せなあかんわな



仕事は段取りがすべてや



歳をとってからも 若いうちも

とにかく勉強せなあかん

先人の知恵と対峙するには

とにかく勉強せな

わからんのや





素直に謝るべし 間違った時は

心から謝るべし

絶対に忘れず

悪かったと思う気持ちを

感謝という気持ちで

頭を下げる

十二の教え

... その 五

13

十二の教え

逆らってもいかん 組めんようになる 組めるもんも 順序を間違うたら

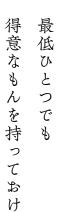


世話んなった人には 礼をつくせ 人には礼をつくせ

年上、年下は関係ない おかげ様の気持ちで







生きて行く足しになる



常に謙虚でないとあかん

天狗はあかん わしらがやって

いることは

、べて先人が

なんて思たらいかん

十二の教え







そやから大事に扱わな

あかんのや

そんな大切な木を

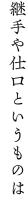
使わせてもらう

人の営みとして

19

どんな木にも命がやどる





各部材を連結させて力を

伝える方法

大工技術もしっかり継げて

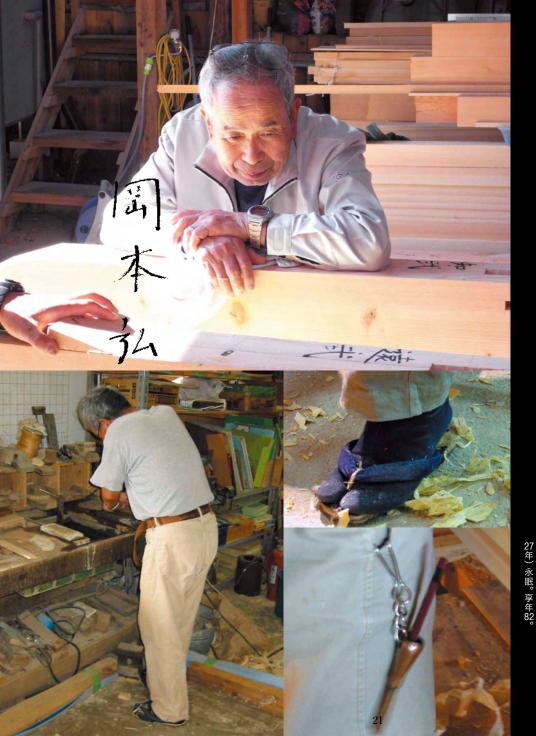
次の世代に伝えるの

棟梁の仕事

それがわれわれ「匠弘堂」の礎となっているのです。 梁の言葉、思いを胸に刻み、日々仕事と向き合う、 がえのない師であった岡本 弘棟梁の言葉です。棟 これら「十二の教え」は、宮大工の先達であり、かけ

岡本初

馬 茂、横川総一郎とともに「匠弘堂」の極意を切り開き、宮大工棟梁にの極意を切り開き、宮大工棟梁にの極意を切り開き、宮大工棟梁にの極意を切り開き、宮大工棟梁にの上が、大工であった父のれ。15歳のころ、大工であった父のれ。15歳のころ、大工であった父のれ。15歳のころ、大工であった父のれ。15歳のころ、大工であった父の





企業理念

生きるとして

私たちは、

岡本棟梁より受け継いだ

伝統的木造建築技術を駆使して

高い品質と大きな感動を届け

日本文化の伝承と

発展に貢献します。

三つの力匠弘堂の

京大工の仕事」であると

ます。「宮大工の仕事」であるという誇「宮大工の仕事」であるという誇

人間力

として成長し続けます。
謝し、人に感謝することで、人間ことを自覚し、心から、ものに感常に「宮大工」という公人である

技術力

ない「宮大工集団」を目指します。術力で、世の中になくてはなら「匠弘堂」にしかできない高い技伝統技術に創意工夫を加えた、

段取りを重んじ、徹底的に準備する。

います。 ひとりひとりが考え、調べ、確認し、それらの理由をもとに段取りを行う自 発生し、作業のために必要な道具・材料はどれか」の確認と準備を徹底して なりません。ですから、われわれは、事前に「この工程にはどういう作業が ないのに「今から道具の準備をしますのでお待ちください」ではお話しに 物事はなににおいても段取りが肝心。すぐさま仕事に取り掛からねばなら

発的な姿勢が、品質の向上と技術の追求にもつながります。入念な段取りと 事前の準備こそ、われわれがすべき、もっとも大切な最初の「仕事」なのです。



一生を通じて学び続ける。

「精神性」も持ち合わせてこそ、人々の心を揺さぶることができるのだと考 ば巨大な工芸品ともいえるでしょう。それらを担うわれわれは、綿密に培 の知識を追究する姿勢も不可欠。さらには、日本人ならではの「美意識」や われた技術の数々を習得し、磨くことはもとより、それらを理解するため 悠久の年月を経て伝承されてきた社寺建築。文化的価値をも備えた、いわ

澄ませることに尽力するのです。 「一生勉強や。そして自ら感動しろ」と言い続けた岡本棟梁の域に近づくべ く、われわれは生涯学び続けます。ひたすら技術と知識を高め、感性を研ぎ

自己について



積極的に言葉で伝える。 礼節を重んじ、挨拶・感謝・お詫びは

構わないのでは」と思うのは傲りです。毎日、丁寧に挨拶をして、些細なこ めにじつに大切なこと。ですが、勘違いしてはいけません。礼節は、特別に 重んじることで、人と人との関係性はより豊かなものになるはずです。 とにも感謝する。そして、過ちを起こしたときには心から謝罪をする。礼節を ること、言葉で伝えること。「言わなくても伝わるだろう」「これくらいなら ても、難しいことではなく、、人、として、素直に挨拶・感謝・お詫びを口にす なにかをする。のではなく、日頃の行動での作法を指すのです。作法といっ わる言葉は多々あります。つまり、礼節とは、人と人とが信頼関係を築くた 「礼にはじまり、礼に終わる」「一流の人はお礼を三度言う」など、礼節に関



常に持つ。 自信と同じ大きさの謙虚さを

敬意を忘れるなんてもってのほか。謙虚である者だけが、己の足りない部 も忘れてはいけません。、できる自分、に思い上がり、他者を見下す態度や、 進めません。常に、誇りと自信、を持って挑んでほしい なる自信につながり、その自信が次のステップへの努力を生み出します。 分を知り、さらなる高みに挑む努力ができるのです。努力し続ければさら してしまうこともあるでしょう。反省は大切ですが、そればかりでは前へ 「どうせ自分なんて……」「この程度の仕事では……」と、時には自分を卑下 。とはいえ、謙虚さ



こうすべてを教え、教わる。

決できない 段で確認する姿勢を持ってこそ、真の宮大工に近づくことができるのです。 限られた情報や知識では高い品質のモノづくりはできません。ましてや、 さらに別の誰かに伝える。それらが連鎖していけば、みなの知識も蓄積さ 極的に知識を伝える、授けるよう心がけてください。 勘違いや誤った知識は重大欠陥につながりかねません。いつも、複数の手 れていくのです。人は、自分の知識以上のことは理解できない生き物です。 知識を受けとった者が、別の誰かに教え、そしてまた、その教わった者が、 は、聞くこと、そして、聞かれた側は、伝えること。いえ、聞かれずとも、積 決できない――「経験がものを言う」こと、よくありませんか。そのために自らの力で「調べて・学ぶ」ことは非常に大切です。でも、それだけでは解

よりよい仕事をチームとして追求する。

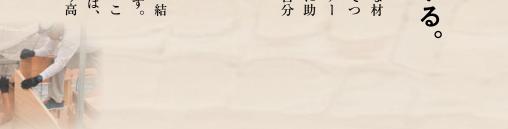
け合い、補うというチームワークが不可欠なのです。それぞれが、今、自分 くり上げるものです。ひとりでは到底、目的を果たすことはできず、、チー 木の量、複雑な部材構成、伝統的な継手仕口を駆使し、長い工期をかけてつ ム、で仕事をしていることを忘れずにいてください。宮大工には、互いに助 われわれの仕事は個人プレーではなし得ません。社寺建築は、圧倒的な材

チームとしてみなが成長できるはず。結果、匠弘堂のモノづくりは、より高れにより、仲間同士=匠弘堂メンバーが刺激し合い、切磋琢磨をすれば、困っている者がいれば、率先して助け、周りを支え、自らも支えられる。こ 束しながら、多様な困難を乗り越えてプロジェクトを完遂させるのです。ができることに最善を尽くし、献身的に行動する。そして、規律、尊重、結 品質で、普遍的価値を生み出すのです。

損得ではなく、尊徳で行動しよう。

来」を紡ぐことができるでしょう。 自分ではない誰かを想って行動し続ければ、必ずや、「1000年先の未 電車で席を譲る……」といったことでも構いません。 小さなことでも喜ん と匠弘堂は考えます。それにはどうすべきか? と、つまりは、愛、であり、愛とは、人にとって心地よい環境を与えること、 で奉仕する。周囲の人たちへ気を配る。損得ではなく、尊徳、で行動する。 できるかどうか。己の欲に囚われず、社会に貢献し、世の中を幸せにするこ 「徳」とは、自分の損得を度外視してでも、自分以外に対して、、よい行い、を 「落ちているゴミを拾う、

徳のある行動に努め、周囲からの期待に最大限応えることが、私たち、匠弘 二十四時間、三百六十五日、つねに見られる「宮大工」であることを意識し、











青松寺 八角納経塔 2014年/東京都港区



速谷神社 宮司 櫻井建弥さま

名誉宮司さん、宮司さ んと二代にわたり、お仕 事をいただいています。 ありがとうございます。





先代の宮司(父親)からの紹介です。10 年くらい前からお付き合いをいただいて います。当社の斎館工事のため、半年ほ ど若い大工さんたちが泊りがけで作業し てくださいました。

横川社長と有馬棟梁です。昨年6月に先 代宮司の父が帰幽しました。コロナ禍で 大規模な神葬祭もできず、来年の一年祭 にあわせて、老朽化した儀式殿を改修し 行うことにしています。この改修工事を快 く引き受けてくださいました。

父が愛した匠弘堂さんの手掛けた儀式殿 で、父の一年祭を立派に行うことができま す。感謝しています。

全国の神社の信仰空間の形成に、これか らもご助力いただきたいです。仕事ひと つひとつに心が込められていることです。 頭が下がります。

神仏や自然、先祖に感謝する心を自ら育 てていくこと。「ありがとう」「おかげさま」 の心を常に持つことだと思います。

神社仏閣など、伝統的建造物の保護と再生。

匠弘堂へのエールを!

20周年、誠におめでとうございます。たび重なる 災害のため、全国で建物が棄損した神社や仏閣 は決して少なくありません。これからもみなさまの ご活躍を切に願っています。



心援してくださっている方々に聞きま匠弘堂の仕事力」に期待し

? つ

Q2

深く関 わの っている?

Q3

できることは?ひとりひとりがに気景を守るために にや

Q4

んをどうぞ

必要なことは?長く愛され続ける る

Q5

〈匠弘堂に関する五つの質問〉にお答えいただきまーそこで、日頃から、匠弘堂を応援してくださる方々お思いの方もいらっしゃることでしょう。

「どんな仕事ぶり

、どんな会社なの?」 なの?」……と

エそ

よいと感じることは。 関待することは? 関待することは? に弘堂の仕事力に に弘堂の仕事力に

Q1 きっかけ、 近弘堂を は知

奈良磐雄デザイン研究室 主宰 公益社団法人京都デザイン協会代表理事 NPO法人京都西陣町家スタジオ代表理事

奈良磐雄さま

デザインという場で は、異端な存在であ る私のことを可愛 がってくださいます。

> 匠弘堂 横川



匠弘堂を応援して

2015年、公益社団法人京都デザイン協会の会員になっていただいたことから。 理事にもなっていただき、2020年の役員改選時に辞退されるまで、協会運営にもご尽力いただきました。なかでも当協会主力事業の「京都デザイン賞」グランプリトロフィーを匠弘堂様の技術で製作していただいていることが誇りです。

A2

直接は横川社長さまですが、作業場でのスタッフのみなさんの真面目な仕事ぶりは印象深く、帰り際、みなさんが作業の手を止めて表に出て見送ってくださったことは、礼儀を重んじておられる組織であることを再確認しました。

A3

伝統的な社寺建築を、社長、棟梁を先頭に若い人の教育を、仕事を通じて、しっかりやりながら「チーム匠弘堂」で実行されているスタイルの継続に期待します。 社長と棟梁の阿吽の呼吸、確かな技術の伝承、若い職人を育てる姿勢。

A4

外国を肌で感じ――日本との違い、日本の優れていること、劣っていることを認識し、自分は何ができるか、自分ができなくても、どうしたいかの思いを持つこと。

15

施主の期待を実現する、確かな技術と研究。幅の広い人的交流。

匠弘堂へのエールを!

企業は人を育て、人は企業を育てる関係性の構築。ひとりでできることは限られています。ひとりひとりが人間力を高め、それを結集するのが会社であり匠弘堂のメンバーです。1000年先にも見てみたいものです。頑張ってください。



永本建設株式会社 代表取締役

永本清三さま

創業時からたくさんのアドバイスをくださった、 兄貴のような存在です。

> E弘堂 | 横川



A1

匠弘堂立ち上げ前からのお付き合いです。起業することは本当にエネルギーが必要で、理念と経営の理想を同時に追求していかなければなりませんが、当時の横川社長は30代、有馬棟梁も20代とお若いながらもそれを兼ね備えており、このような人が日本の社寺建築に新風を吹かせるのだろうと期待したものです。まさにその通りになっています。

12

横川社長と有馬棟梁ですが、もっと多くの人と関われるように一緒に仕事したいですね。

A3

ひと言でいえば「不易流行」でしょうか? 伝統的な 建築工法を継承していく宮大工の仕事ですが、得て して内部情報技術で終わってしまうかもしれない。 それを広く公開し、継承しようとする勉強会など、伝 統的な「変えてはいけないことと、変えて行かないと いけないこと」の見極めができるところです。

仕事への姿勢では、若手大工の育成が素晴らしい。 若い社員さんはどうしても出入りがあるもので、その たびに一から教え込まなければなりません。そのよう ななかで、有馬棟梁をはじめて見た時と同じように感 じた人がいます。タイプは少し違いますが、今では副 棟梁になられた髙橋さんです。 頑張っていただきた いです。

A4

興味を持つこと。つくる人も使う人も、そしてそれを 見る人も建物そのものの美しさが"日本固有のものだ から美しい"と感じる心を養うことだと思います。いく ら立派な建物でもまわりの景色や風景に適合しなけ ればただの箱物です。そのために私たちができるこ とは、自社だけでなく、情報を発信して美しさの共有 をすることでしょう。

A5

京都に必要な技術継承企業としてだけでなく、日本の森 林育成や木材の流通までもを、宮大工の立場から、持続 可能な建造物になるように情報発信をしていただきたい。 日本の建築物が外材を使っていては残念でなりません。

匠弘堂へのエールを!

創業20周年おめでとうございます。日本を代表する企業になられ、ますますのご繁栄を期待しています。初代棟梁岡本 弘氏の「見えるところは当たり前、見えないところほど気配りせなあかん」。この言葉が、私たち岡本イズムの信者として、成長の呪文だと信じて、今後もともに精進して行きましょう。



公益財団法人 藤田美術館 常務理事·館長

藤田 清さま

古いものと、ものづくり の職人をとても大切に 思ってくだいます。

横川



17世紀に建立された、藤田美術館 多宝 塔の調査や修復、曳家をしていただきま した。

棟梁の有馬さま。

施工中も、毎回丁寧に補修箇所などご説 明いただきました。特に屋根の銅板補修 について、棟梁と以前ご一緒されていた 職人の方が尽力してくださったことを聞き ました。あらめて技術だけでなく、人の 手、人の繋がりが重要であることを実感 しました。

先人の仕事を生かしながら、現状の見た 目で補修するのではなく、長い時間を経 て建物と合うように修復をしてくださいま した。職人の技術力だけではなく、長い 歴史のうえに成立する仕事だと感じたの で、変わらぬ仕事力を期待しています。

伝統建築の多くは、梁ひとつ、釘一本に 至るまで想いと理由が込められています。 見た人がそれぞれ、建てられた当時の想 いや理由を少しでも感じることができれ ばと思います。

変わらない歴史を踏まえた高い技術力 と、建築への深い愛情。

匠弘堂へのエールを!

これからも、人の手がつくる美しい建築を楽しみ にしております。



松井建設株式会社 名古屋支店 元副支店長

江頭目敏さま

江頭さんがいなかったら 匠弘堂は誕生していない ほど、われわれを守ってく ださった恩人です。



起業時からのお付き合いです。横川社長 および有馬専務から正式な起業のお話を いただく前に、会社の応接室で岡本棟梁 とふたりで、今後について酒もなしで語 らったのが思い出されます。

日本文化を理解する「目」を養い、自分な りの理解力を持つこと。

伝統技術の継承・人材の育成。

横川社長です。Facebookにて会社の業 績、活躍している姿を垣間見ることが非 常に楽しみです。北の大地で社長と有馬 専務にお会いできたのも不思議なご縁で すし、足寄での社寺現場にて藤井さん、 髙橋さんらにお会いできたのもいい思い 出です。また、故人となりますが岡本弘は 忘れることができません。私のなかでの 「永遠の宮大工・棟梁」です。

常に平常心で驕らず、へつらわず、地道に 「為せば成る」の清心で事業に専念する。

匠弘堂へのエールを!

横川社長のバイタリティある受注推進力と、有馬 専務が岡本棟梁から受け継いだ技術力・清心力 (精神力)を推し進めれば、必ず道は開けます。 "やれ"。

リフォーム会社勤務(匠弘堂OG) 朝比奈恵美子さま 創業当時のメンバー、しんどいなかついてきてくれた"エミっち"です。 岡本棟梁とは、親子喧嘩のように意見を交わしていました。





Al

20数年前、匠弘堂設立前に雇っていただきました。 みなさんが広島でのお仕事に出られる直前に、慌て て押しかけた気がします。若い横川さんと有馬さんの 存在が、みなさんを元気づけているような印象を受けました。

A2

横川さんは匠弘堂設立の陰で大変なご苦労があったと思いますが、いつでも優しくて明るくて精力的だった印象しかありません。たまに飯場に来てくださると雰囲気が明るくなって、みんなうれしそうでした。20年ずっと変わらず、そんな社長さんなので、匠弘堂は続いているんだろうなと思っています。

岡本さんはイタズラ好きで釣り好きで、JRの車中では必ずタカラのレモンチューハイを飲んでいる"かわいいおじいちゃん"といった感じでした。難しい仕事も表情を変えず淡々と仕上げていかれるので、はじめはすごさがわからなかったのですが、次第にわかるようになりました。新米の私にもいろいろなことを挑戦させてくださいました。

A3

匠弘堂の発信力で、これからも宮大工の仕事を世界 中に伝えていただきたいと思います。

はじめて公式ツイッターを拝見しました。面白いです。若い大工さんの仕事ぶりは、母親のような気持ちで見てしまいます。日々の仕事をツイッターなどに綴るのは、職人さん自身にとっても励みになるのでは。

A4

若い人たちが伝統文化に触れる機会が少ないので、 身近に経験できるきっかけをつくることが大事だと 思います。

A5

取材や見学を受け入れ、いろいろな催しへ参加されての広報活動はものすごく大変で時間を取られることと思います。でも、そのおかげで匠弘堂のお仕事ぶりやみなさんの人柄が伝わるので、次々と新しいお仕事につながっているのだろうと思います。

匠弘堂へのエールを!

遠方へのお仕事も多く大変だと思いますが、みな さま、お身体に気をつけて、ますます素敵なお仕 事を続けてください。



株式会社日本建築工藝設計事務所 代表取締役

松島義知さま

温厚でやさしくて、あれこれ相談にのってくださり、 すぐに結論を出してくださる頼もしい方です。





A1

起業時からのお付き合いです。横川社長 および速谷神社 御社殿復興の折、岡本 前棟梁のときにお会いしました。その後、 同じく速谷神社 社務所新築の施工で、 親しい縁ができました。

A2

岡本前棟梁ですね。現場に宿舎があったように記憶していますが、痛風持ちのため、大好きな晩酌ができずにいらした岡本棟梁の横で、おいしくビールをいただいたことを記憶しています。

A3

現状維持で結構です。

一所懸命、テキパキな仕事ぶり。

A4

施工した建物に満足していては上達が望めません。自分なりに見直して、欠点を探し出すこと。そして次に繋げることだと思います。

A5

ひとりひとりが匠弘堂のカンバンです、主 役です、営業マンです。しっかり勉強して 楽しんでください。

匠弘堂へのエールを!

日本は広いです。まだまだ、社寺仏閣の建物はあります。ご活躍をご祈願します。



工学院大学客員研究員 環境文化保存計画菅澤1級建築士事務所代表

菅澤 茂さま

「大工だけでなく、図面が描ける のがいい」と褒めてくださり、「若い 会社に伸びてほしい」と推薦して くれる、ありがたい存在です。





AI

2016年9月に着工した知恩院塔頭常称院(京都市東山区)を、知恩院御門跡の住居にするための改修工事からです。私が知恩院の技術顧問をしていることから、改修工事の計画段階、施工監修まで、当該工事に関わりました。以降、さまざまな仕事を拝見していますが、いずれの工事でも、大工志望の若手大工を育成しながら、丁寧な仕事ぶりと端正で見事な出来栄えに感心するばかりです。文化財系の設計監理者としては頼むしい会社です。

A2

横川社長と有馬棟梁の信頼関係の深さはいつも感じます。経費面の苦労もあると思っていますが、いつも笑顔を絶やさず接していただき感謝するばかりです。おふたりの信頼が、若い大工さんたちを匠弘堂に惹き付ける力と思います。

43

匠弘堂の魅力は「図面力」。丁寧な仕事振り、常に謙虚な気持ちで、研究を怠りなく、取り組む姿勢がいいと感じます。

A4

温故知新。

A5

広範な仕事の経験を積み、社寺新築や 文化財修理まで、より、いっそうの幅を広 げていただきたいと思います。

匠弘堂へのエールを!

京都の宮大工に憧れてくる人たちの目標になっていただきたく、お願い申し上げます。



大井神社 前宮司

稲本高士さま

匠弘堂にとってはじめての元請けをさせてくださいました。以来、なにかあればすぐに声をかけてくれ、また宣伝もしてくださいます。





AI

本殿の修復工事をするにあたり、日本建築工藝設計事務所に設計図を依頼したところ、「京都にはたくさんの宮大工があるが、新しいところでまだ若く、ちょっとユニークな宮大工があるよ」と聞いたのがきっかけです。

A2

代表の横川さんは節目でのご挨拶や御参拝をいただき、いつまでも客を大切にされる丁寧な方だと感心しています。岡本棟梁さんは物静かな方でした。「今でもこんないい木があるんやな!」と、ひとり言のようにおっしゃられ、そんないい材木を使ってもらうのだとうれしかったです。現棟梁の有馬さんには、当神社までお子様の七五三のお参りに来ていただき、手狭な仮殿に御参りいただいたことを懐かしく思い出します。

A3

- ■現場と会社との距離関係にもよるでしょうが、現場で仕事のスタート時間が早いということ。
- ●参拝者への対応が気持ちいい。
- ■現場の近くに車を留め置かず、荷物を下ろしたら 常に駐車場に移動される。
- ●若い方も含めて、事前に自分のするべきことがわ

かっているようで、指示を待たずにきびきびと動いておられる。

○「下請け当時の仲間」「勉強会での仲間」が多く、仕事に活かされている。

仕事の中身について素晴らしいのは当然ですので、 省略します。

A4

個人でできることは少ないですが、せめても、社寺や歴史的建造物や景観、古民家などが取り壊されることなく、日本らしい建物・伝統建築であることを願う気持ちを、ひとりひとりが持つことでしょう。

A5

今の匠弘堂さんが好きなので、ベストではないかもしれないが、このままであってほしいと願います。

匠弘堂へのエールを!

悠久の歴史と雅の文化のある京都での宮大工という仕事は、大変重い仕事だと思います。それだけに京都は同業者の多い土地です。そのなかで、若くても高い技術力で、京都一と評価される宮大工になってください。

匠弘堂の仕事力に期待する「誰」と深く関わっている?



東京大学教育学部附属中等教育学校 教諭

長嶋秀幸さま

教室の中だけで教育を 終わらせず、"現場"と "本物"を見せようとな さっている先生です。





2014年から、関西宿泊学習の訪問先のひとつとして 6年間お世話になりました。京都の寺社建築を見学 する際、匠弘堂での学習は欠かせないものとなって います。この学習を通して生徒の古建築を見る目が 変わりました。

横川総一郎さんです。 桔木マニア (笑) の横川さんの お話で、「桔木」が寺社建築にとって重要な役割を果 たしていることを知りました。毎年1回、1時間以上に わたり、生徒に日本の木造建築の話をしていただい ています。お忙しいのにも関わらず、いつも快く引き 受けてくださり感謝の念にたえません。横川さんが、 好きなことを仕事にしたいと一念発起し宮大工の世 界に飛び込んだというお話も、生徒にとっては将来 の仕事を考えるうえでとても貴重なお話です。

長く愛される建物をこれからもつくり続けていただく ことです。

横川さんのお話から、匠弘堂のみなさんが、ご自身 の仕事に誇りを持っていること、宮大工の仕事を愛し ていることが伝わってきます。みなさんが岡本 弘棟 梁の教えを受け継いでいるのだと思います。

日本の木造建築の素晴らしさ、技術力の高さを知る ことだと思います。木造建築に対する誤った負のイ メージを取り払うためも、学校教育が担う役割がある のではと思います。

伝統的な木造建築の技術を若い世代に伝え続けて いただきたいと思います。そして、その魅力を、さまざ まな媒体を通じて世界中に伝え続けていただきたい と思います。

匠弘堂へのエールを!

匠弘堂30周年もご一緒に迎えられたらうれしいです。 今後ともよろしくお願いいたします。



京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK) イノベーション・コーディネーター

石井規雄さま

職人についてよくご存じ で、経営や人事をはじ め、どんなことでも相談 にのってくださいます。



「これからの1000年を紡ぐ企業認定」の認定取得に ご関心を持っていただき、直接お会いしたこと。担当 コーディネーターとして伴走支援をしていました。そ の後、めでたく認定取得をしていただいたことで、さ まざまな面でお世話になっております。

みなさん、印象的な方ばかりです。

いつも活気があって仕事熱心な方が多く、大変感心 しております。お会いするたび、私も日々勉強させて いただいています。

仕事力で期待することは、匠弘堂さんの仕事力が社 寺建築業界だけでなく、日本のモノづくり産業全体 に広がっていくような展開を期待しています。礼儀正 しさや、仕事に真正面から向かう姿勢は本当に素晴 らしいなと感じております。

日本の伝統建築や日本らしい風景に触れる機会を、 日常の中でつくっていくことが大事だと思います。そ れらを感じる機会が減少していると思いますが、まず は観光や旅行の中で触れること。ひとりひとりが「日 本って素晴らしいな」と感じることが、日本の伝統建 築・日本らしい風景を守っていくために必要なことだ と思います。

岡本棟梁の教えを1000年先まで伝えること。その ために、これからも日本文化の伝承と発展に貢献し ていただければ、認定取得に携わった者としてうれし い限りです。

匠弘堂へのエールを!

20周年、本当におめでとうございます! 1000年先を見据え、匠弘堂さんのつくりたい未来 に向けて、これからも頑張ってください。SILK一 同、いつも応援しています。

大成建設株式会社 設計本部専門・先端設計部 部長(担当)

松尾浩樹さま

「困ったときの匠弘堂」 とおっしゃってくださる ほど、うちの技術を信頼 してくださっています。

横川



天光会神殿新築工事において、錺金物 工事をお願いした京都社寺錺漆さまから ご紹介いただき、木工事を担当していた だいたのがきっかけです。

横川代表:常に匠弘堂の将来を考えて 活動しているアイディアマン。

有馬棟梁:礼儀正しく実直で決して偉ぶ らない魅力的な人柄。

設計スタッフだった竹本さん: 最近お会 いしてませんがお元気ですか?

経験により培われた伝統技術とCADに よる規矩術を融合させた「匠弘堂の伝統 建築の素晴らしさ」を広く世界に発信して ほしい。礼節をわきまえた言動、立ち振 る舞い、そして何よりその技量、まさに "匠弘道(匠弘堂)"という大工道をつねに 感じています。

身近にある古きよきものを体験しその素 晴らしさに触れることだと思います。

仕事のひとつひとつを地道に確実にこな し、世間からの信頼を確固たるものにす ること。同時に若手を鍛え上げ、そのネッ トワークを広げ、"匠弘道(匠弘堂)"を広 めていただきたい。

匠弘堂へのエールを!

技術を継承するのに、20年という周期が一番の節 目であるように思えます。故・岡本棟梁から有馬棟 梁へ引き継がれた技術が進化しながら、次の世代 へとつなげ、この先、何代にもわたって躍進されま すことを心よりお祈り申し上げます。このたびは20 周年おめでとうございます。



COS KYOTO株式会社 代表取締役・コーディネーター 一般社団法人DESIGN WEEK KYOTO実行委員会 代表理事

北林 功さま

匠弘堂のことを「社寺建築業界 のベンチャーだ」と。うれしい ことに、匠弘堂の新しい空気感 を読み取ってくださっています。



2018年、「DESIGN WEEK KYOTO」の オープンファクトリーへ参加申し込みい ただいたことです。

横川さんと一番絡みが多いですが、有馬 棟梁とも、燕三条のトークショーにご一緒 しました。 有馬棟梁愛用の「鑿鍛冶 田斎」 さんとの対談でしたが、それぞれが、お互 いに「よい仕事をしようと思った」とおっ しゃっていたのが印象に残っています。

1000年後に「文化」として残る仕事。 ひとりひとりの誠実な姿勢。

自分たちの足元に流れている源流を知 り、感じ、未来のために今何をすべきかを 考えること。神道でいう「中今」です。

受け継がれてきた技術や表現はもちろん のこと、新しい技術や表現にも積極的に 取り組んでいるところ。

匠弘堂へのエールを!

次の100年、500年、1000年先にも受け継がれるよ うな「社寺建築文化」を創り出していっていただき たいと思います。

開創六百年の信仰と教学の道場

法華宗(本門流大本山)

貫首 小西日遶さまに訊



^{*}社、であり、、。寺、はお寺の、寺、のこと。 匠弘堂は社寺建築を専門としています つまり、店舗やビル、一般の住宅などとは異なる伝統的な設計と 社寺の "社"は神社

お仕事をしてまいりました。 これまでの二十年、日本全国さまざまな神社や寺院と 大工技術をもって、日々仕事をしているのです。

48

親しまれているところばかり いずれも歴史があり、信者さまはじめ地域の方々に

本堂の耐震補強工事をきっかけに、塔頭寺院の改修、 なかでも、兵庫県尼崎市の本興寺さまとはご縁が深れ

祖師堂、山門の修理、参道の石鳥居、

太鼓橋など多くをお任せいただいております お訪ねするたびに、心温かいご対応をいただきます 本興寺さまには、言葉に尽くせないほどお世話になっており、

私、横川がおおいにリスペクト (学僧さんたちの挨拶もすばらしいのです)。 していることもあり、

その感謝をお伝えしたく、本興寺さまを訪問し、 貫首・小西日遶さまにお話しを伺いました。

聞き手 横川総 _

めて、どういったお寺であるのかを教三光祭」で知られていますが、あらたひとつ、名刀「数珠丸」や「虫干会・ えてください 本興寺さまとい えば、天下 五剣の

られて。 延山の久遠寺を総本山とするひとつの とする一派です。 像上人の流れを受けた日隆聖人を派祖 われる方が多いのですが、日蓮宗は身 と申し上げると、日蓮宗と同じだと思 「法華宗本門流の大本山です。 お経も一緒ですが、日蓮宗とは、教 私どもは、日蓮聖人の直弟子・日 本興寺さまは大本山のひとつであ [^]お経の解釈_^が異なるのです」 宗祖は日蓮聖人です 法華宗

山があり 「はい、法華宗本門流には四つの大本 ましてね。千葉に鷲山寺、 静

> 寺は私が務めております」 〝貫首〟と称する代表役員がおり、本興 こ本興寺です。 岡に光長寺、京都の本能寺、そしてこ 四大本山それぞれ

られる? **平能寺さまは** 『本能寺の変』で知

学院』といい、現在は 教)を目的に、ここは教学を学ぶ道場と 国の守護・細川満元の帰依によりつく 校』として僧侶を育成しています」 るかといいますと、本能寺は伝道(布 寺といった間柄ですが、なぜ、ふたつあ られました。 永22)年に、こちらはその五年後、摂津 しての役割を担っています。当時は『勧 「そうです。 本能寺と本興寺とは兄弟 本能寺は141 『興隆学林専門学 5年(応

れている方々が気持ちよく挨拶してく 上事や調査でお伺いすると、学ば



大本山 本興寺

兵庫県尼崎市開明町3-13

います。 ださって、素晴らしい教育をなさって のご子息でいらっ いるのだなぁ、といつも感心してしま 通っておられる方々は、お寺 しゃるのです

記も必要です。 よ (笑)。 だけます 本山で実技を学ぶのです。 学校を出られていても、法華宗の僧侶 をそう呼びます)の経歴を教えていた す。さて、御前様 (小西日遶さまのこと が、一般の方々にも聴講いただけます」 すので、それらを解釈し、 お書きになった文章がたくさんありま かぶったりといったことはありません ても、他宗のように、寒い時期に水を とが必須。こちらに通っていただき、 を希望なさる方は、一定年修行するこ 「在家からの方が多いですね。 経典を究めることに興味がありま 教典をはじめ、日蓮聖人が 専門学校ではあります ときには暗 実技といっ

会社に勤務している……まあ、サラるわけでもなし。 宗教法人という名の 職さんによる選挙で選ばれ、任期は五ようなものでしょうか。それぞれの住首〟という立場、つまり代表取締役の 寺が百三十ほどありまして。 ある。下世話な話ですが、退職金があ す。独立するまでに年月がかかりますの社会と比べると窮屈な面がありま で得度しました。 さんになるものだと思っており し、当然のことながら社会的な規制も 「実家が寺で、物心ついたときには坊 -マンと同じですね。 寺というのは、 本興寺には末 私は 一般

りです。 続け、重要文化財指定の建造物もおあ だと思います。それにしてもご開創 六百年、 想像するだけ さまざまな歴史を見守ら 大変なお仕事

長、豊臣秀吉、徳川家康らの禁制があ 要文化財です 「開山堂、三光堂、方丈が国指定の重 また、三好長慶、 織田信

たもの。 武将に保護を求 害から自らを守る ができました」 を切り抜けること という証文を交わ に軍隊が入らない〟 ために、大名や有力 というのは、兵火災 りましてね。 したため、戦国時代 ご開創 ″寺の境内 してから 禁制

江戸 違ったそうです しての大坂城 西国支配の拠点と で勝った徳川方が、 城とは、大坂夏の陣 ありました。 ある地に本興寺が 「当初は、尼崎城が 幕府初期 の場所 尼崎 を守 ね? とは で

のために、 .転を強

> る力は持ちながらも、心制されたのです。戦国 には逆らえなかったんですね。 らも、当時の徳川幕府(戦国武将らと交渉す

ろ 移って四百年 和には大戦、阪神淡路大震災など、 開創して六百年ですが、 いろなことがあって現在につなが 明治には廃仏毀釈、 この地に つい

模の に、このあたりに、こんなに大きな規 ています」 歴史の重さを感じます はじめて本興寺さまを訪ねたとき お寺さんがあるのか、と驚きまし

ことで す。 本堂、塔頭が燃えました。 隣の全昌寺さんが火を出して、祖師堂、 こに移ってから一度焼けています。 大変なことになります。そうそう、 六院ありまして、そこに火がついたら を保護するというのは大変なことで 震災のときもかなり傷みました。ここ 射の痕が残っています 「境内の石に、太平洋戦争での機銃掃 本堂は当然のことですが、塔頭が すがし し、阪神淡路大 文化年間の お

いて。 聖人の像を祀るお堂のことです 日蓮聖人で、祖師堂は文字通り、 お察しいたします。 負った工事についてのお話を。 一昨年、工事しました祖師堂につ ″守らなければいけない 「祖師」とは法華宗の宗祖である では、匠弘堂が請 ご苦労 まず

ちた』とご連絡をい 地震のこと。『山門の瓦がちょっと落 経緯としては、三年前の ので祖師堂をしっかりと ただき、 大阪府北部

ち、それが地面に伝わり、建物の下に ていて雨仕舞いもよくなかったんでお隣の全昌寺さまとぴったりくっつい 人ってきて……と不具合が多々見つ ました。 屋根に落ちた雨水が裏の隙間に落 いたしました。す ると、 、祖師堂は、

ばかり さった。それがありがたくて。 て、床下の通風をよくしようと修繕の れではまったく気が付かなかっ でです ない。ならば、今できることをきっ b 年後かに致命傷となることは間違 と。とくに雨仕舞いをしっかり しれません。けれども、何年後か 立派な建物でい **でした** から、放っておいても大丈夫 料を使ってお たこと われ ゎ

まかせできました」 出してくださったのもよかった。 ていは終了後にまとめてのレポ 埋した』という報告書を写真入り したが、その都度、どんなことをなさっ 「工事期間中も毎々、 いるのか状況がわかり、安心して そうおっしゃってい 『どこをどう修 ただけるとう た で提 トで

ご提案をしました。

MMMMHHHHH

2021年に手がけた「太鼓橋」

んです。どう・んです。どう・

·でどのような - プンにしたい

なにをしているのがわかり

í ません

などで養生します

ので、

中で

告する義務があります。

作業中の現場

れしいです。

私どもにはお客さまに報

際、宮大工はじめ職人らにとっての大客さまにご安心いただけますし、調査と出事内容のすべてをわかるようにしと工事内容のすべてをわかるようにしておけば、もっと先の未来の修理等のでは、 きな参考資料になるはずです。

ところに手 切であると考えています」 私は、きちんと後世に伝えることが大を残すという習慣がなかった。ですが く工事のたびに責任者が代 との記録が残っておりませ 「本興寺の長い歴史の中でも、工事ご 大変共感です。 が届く、細かな仕事をして 今後とも、 わり、記録 ん。おそら

2020年に手がけた「祖師堂」

こが悪い』という提案書を示して

「匠弘堂さんは、見積もりの前に

Ξ

、お願 ます。 11 これから 末長くよろ



今回のインタビューで本興寺さまをつぶさに見学、ご案内いただきました。 歴史の重み、受け継ぐこと、それを次の時代……遠くの未来へとつなぐこと の大切さを実感いたしました。

れぞれが技術を磨き、 か語る、仕事への熱き想いとはユチーム、そして設計チームの りを高め合う「匠弘堂」。 0



知恩院 新法務棟 2012年/京都府京都市東山区

地道に努力を続ける。弱点と向き合い、

味の父親と、大工の叔父のもとで、子ど 姿が想像できず、会社を辞めました。 ものころから自然と鋸や鉋を手にして 自分の部屋をつくったことも。高等専 いました。モノづくりが得意で、廊下に したが、定年までそこで勤める自分の そのとき気づいたのが、「自分自身が 私は福岡で生まれて、日曜大工が趣 校を卒業後、物流会社に就職、

ンペ 少期に身近だった「大工」の仕事でし 成長できて、身体を動かす仕事をし た。ちょうど二十歳のころです。タウ い」という想い。頭に浮かんだのは、幼 -ジをめくって目に飛び込んでき けに宮大工への扉を叩きました「社寺建築」の言葉をきっか

た。そこで出会ったのが、私の

生涯の師匠、岡本棟梁です。

させていただきました。 働きの日々。岡本棟梁の下で、現場へ の資材運びや、大工さんの手元仕事を 工さんばかりで、一番下っ端の私は下入った会社は六十代のベテランの大

ず見つける」こと。「これは無理かもな」驚いたのは、「どんな難問でも答えを必聞近で岡本棟梁の仕事に触れてまず

自身の宮大 まさに て匠弘堂の二十年、ともいうべき二代目

ら学びました。 ないからだ」と、岡本棟梁の仕事ぶり は、自分の能力や経験がまだ足りてい えはあるもので、「問題が解けないの と思う仕事でも、知恵を絞れば必ず答

てきまし 多くのことを吸収するのは苦手なの してきました。専門職を生業にする以 よう、ひたむきに弱点と向き合い努力 ません。とはいえ私自身、 で、短時間でも毎日「学ぶこと」を続け 土、「宮大工」として穴があってはいけ 以来、自分の殻を破ることができる いっぺんに

たそうで、これはうれしかったです が私のことを「一番弟子や」と言ってい 川さんから聞いたのですが、岡本棟梁 匠弘堂を立ち上げる前後くらいに横

压型學

すべての人を大切に。建物を通して関わる

います。たとえば、未来の宮大工の職来でつながりを持つ人たちも含まれて として大切にしているのは、「仕事で関 こと。そこには、建物を通して遠い した。岡本棟梁の引退後、二代目棟梁 川さんとともに「匠弘堂」を起業しま わるすべての人といい関係をつくる」 2001年、岡本棟梁、現社長の横 われわれの建物を見たときに、

仕事の流儀

を見据えなければいけません。 主) はもとより、そのずっとずっと先 メなんです。今の目の前のお客様 匠弘堂の行動指針の最後の項目 」となっては絶対にダ

まず努力したいです。 全体がよりよくなっていくよう、惜し を尽くすことです。自分自身は周りの **゙徳、とは、自分以外の人に対して誠意** 得ではなく、、尊徳、 万々のおかげで生かされているのだか 関わるすべての人 人、ひいては で行動しよう」。

伝統技術 バトンをつなぐ \mathcal{O}

えた会社にする」こと。 棟梁の教えを残していく」こと、そしている考えがあります。それは、「岡本 立ち上げ当時から匠弘堂が大切にし 岡本棟梁は若手のことをいつも気に 「若い職人たちとともに未来を見据

る姿は本当に頼もしいですね。

ちが成長し、伝統技術に取り組んでい るよう尽力しています。次の担い手た 後進たちにも技術と知恵をつなげられ

屋さんや瓦屋さんなどたくさんの職人

社寺建築には、宮大工以外にも左官

56

の力が必要です。そのため、他業種の

た結果、「仕事力」と「人間力」を併せ持 つ、正真正銘の宮大工として、これか める。先代棟梁の背中を追いかけ >、さらっと指導し、きっちり技を決





匠弘堂の若い宮大工 公前に。

設会社を経て、はじめて社寺建築に携六十五年になったなぁ。いくつかの建業してからや。あっという間に大工歴 やって匠弘堂におらせてもうとる。 棟梁 岡本弘さんにはじめて会うたん されたんや。そこで、今は亡き宮上 業してからや。あっという間に大工ワシが大工の道に進んだんは中学 わったとき、宮大工の持つ技術に圧倒 不思議な巡り合わせで、今もこう

弘堂にいる若い奴らを、ひとりでも く一人前に育てんが自分の役目かなと しっかり育てんのが大事やな。今、 そのためには、やる気のある若い子を は「どこにも負けない会社」「技術No い奴もだいぶ増えて会社としてしっか ー」を誇る職人集団になってほしい。 してきたなぁ。近い将来、匠弘堂に -年前の創業期から比べたら、若

入れをすることが職人の基本や。「しって自分の手と一緒やから、念入りに手具を揃える」ことや。道具は大工にとっ具を揃える」ことが、の基本や。「しってい宮大工職人」になるには、「エエ道 奴は、仕事 むきに努力する若い奴らと一緒に、 ことちゃうで。道具の手入れに熱心な して仕事に備える」。当たり **亅寧で感心するなぁ。ひた**

> れないほど成長の機会をもらってきまかける方で、私は、弟子として数えき した。 として数えき

思っています。 梁と未来の宮大工への恩返しになると 宮大工たちに機会をつくることを大切 がそうしてもらってきたように、若い 技術を磨くだけでなく、かつての自分 にしています。それが、私から岡本棟 だからこそ匠弘堂では、自分自身の

を を は を は を は の は

らも彼は生き続ける。 するなか、本人は〝どこ吹く風〟のごと 誰もが「有馬さんはすごい」と称賛



ただひたすらに

若手に期待することについふだんはあまり語らない、「匠弘堂」の職人を率いる東三十三歳の若さながら、副 綴る



い仕事 求め を

思い描いていた「日大工に憧れつつも、

「なにかに使えるんじゃないか」と思っ うで、もうひとつ「自転車で日本 と、ガラクタを使った工作は大好きです 刃で自在鉋をつくったり、解体現場か 大事な経験になっています。たが(笑)、この八十日は、自分の中でたが(笑)、この八十日は、自分の中でくて初日から心が折れそうになりまし 高校卒業後、八十日かけて自転車で全 という夢も中学生のころからあっ ら出てきた和釘で風鈴をつくったり ました。今も、古道具屋で買った鉋の になりたい」という思いがずっとあり が得意で木を触ることも好きで「大工 て貯め込むような子どもでした。 豆をまわりました。想像よりも 大工への夢を抱き続けていたいっぽ 道に落ちているガラクタを見ては

58

乗せてもらい、京は棟梁の運転するよ トラックに

弘堂のホームページに出会い、なんと 勧められたことを思い出しました。 高校の担任の先生に「宮大工の仕事」 日本一周を終え、就職を考える中で、

行動しないと気が済まない性分のため訪問したのです。思い立ったらすぐに 訪問したのです。思い立ったらすぐにじ、翌年の夏に一念発起して、匠弘堂をなく雰囲気のよさそうな会社だと感 弘堂のトラックに家財道具一式を積 近くで、そこから京都に戻るという匠 と、行き当たりばったりな〝宮大工見 まりをしましたが、こうして振り返る まっておらず、しばらく事務所で寝泊 み、京都に出てきました。住まいる 接・試験を経て採用が決まったんで て。でも、ありがたいことに翌日に面 い」と突撃。横川社長から「アポな ちょうど有馬棟梁の現場が私の実家 もとらず「修業させてほ 5帰ってくれ」と怒られ

宮大工の仕事の醍醐味。

習デビュー、でしたね (笑)。

ています。札幌は寒冷地。防寒のため、いばかりでしたが、興奮したのを覚え然、掃除や片付けといった簡単な手伝 「新善光寺 宮の沢別院」の内装工事。 当 いという思いも強くなりまり お寺が鉄筋コンクリー はじめての現場は、北海道札幌市の 早くたくさんの現場を見た

の面白さは、「自分が描いたとおりに建 たことがあります。それは、この仕事 目の前の仕事を終えるたびにわかっ

> な計算と美的なセンスの両方が求めらぶつかり合う「留め」の部分には数学的かく複雑です。特に部材同士の先端がかく複雑です。特に部材同士の先端がかる。神社仏閣の構造というのは、とに ます。宮大工の仕事の醍醐味です が「ピタッ」と合う瞬間にとても興奮 れるので、最も緊張するのですが、ここ

中を追いかけて。 0 東梁の

なかったかも しながら仕事をするという姿勢は、 やりやすければいい」と思うのではな 働かなければなりません。「自分だけが 次の工程にどう影響するのかを考えて な方が関わりますので、自分の仕事が 瓦屋さんや左官屋さんなど、さまざま 世界が広いんです。社寺の完成には、 のは、とにかくおふたりは見えている 岡本棟梁、有馬棟梁の姿を見て思う 常に周囲や次の工程を考えて逆算 の棟梁を見ていなければ身につか

を持つこと。 当事への

と、ほかの歴史ある社寺建築会社と渡とりが「いい仕事」をする意識がない若い集団です。だからこそ、ひとりひ店弘堂は、宮大工の会社には珍しい り合うことはできません。それに、

> として、若手メンバーを取りまとめ成 を見ていると、複数の職人がバラバラも達成できません。現場で若手の仕事ちばん大切な「いい建物をつくる」こと では作業の効率が悪く、全員で連携しな作業をしていたりすることも。それ 長していくとともに、一丸となって 十四年が経ちます。これからも副棟梁 の棟梁・副棟梁たちに育ててもらいま することがいかに重要かを教える. んですよね。だから、仲間同士で連合わないと絶対にいい物件はできな 匠弘堂の門を叩いてから、早 しています。自分も、そうして先代

「いい仕事」を追い求めていきたいです

仕事の流儀

と志した宮大工の道。

そこで宮大工のキャリアを十年以上 育ったので、物心ついたときから自然 積んだあと、スキルアップを目指して と「自分も大工になりたい」と考えて 事をしていました。 独立。フリーランスの宮大工として仕 大手社寺建築の会社に就職しました。 ようと、高校を卒業してすぐに京都の いたような気がします。手に職をつけ 父が大工、叔父も大工という環境で

直感で飛び込んだ。 若くエネルギッシュな匠弘堂に、

いもありましたが「この人たちと一緒緒にやらないか」と誘われました。迷 どなくして、有馬棟梁から「うちで一だなあ」という印象を持ちました。ほ 会いしました。そのときは「若いメンはじめて有馬棟梁や髙橋副棟梁とお築工事にヘルプとして呼んでもらい、 なら、面白い仕事ができるかもしれな のこと。京都の天光会さんの本殿の 匠弘堂との出会いは、独立し

よい仕事に必要な若き職人たちを束ねる重要な友副棟梁として 3の実践、若手に伝えたいことを語るミュニケーション」の大切さについ 仕事に必要な開人たちを束ねる重要な存在

社を決意しました。 い」という直感を信じ、匠弘堂への入

自分のやり方に

建物です 立場としてきちんと汲み取ろう、と強 大工が集う匠弘堂で、ここにはここの えています。今、働いているのは若い がありましたが、こだわらないように でに培った「自分の仕事のスタイル」 事ということで緊張しました。これま も登録されている歴史的価値の 里城 奥書院の復元工事。世界遺産に入社して最初の現場は、沖縄県・首 く意識しました。 仕事の流儀《がある。中途で入社した しようと当時よく考えていたのを覚 しいメンバーとの

気持ちよくコミュニケーションをと 気があまりないんです。よその宮大工 気があまりないんです。よその宮大工 気があまりないんです。よその宮大工 気があまりないんです。よその宮大工 「みんなで協力する」という文化が強く すぐに溶け込むことができま のよさです。すごくいい空気で、私もれるように配慮し合えるのが匠弘堂 じめ、宿舎の掃除や料理に関しても根づいていること。現場での仕事をは 入社して気づいたのは、匠弘堂には

「踏み込む勇気」。

なのです。 ます。そこには伝える側の努力が必要 と。たとえば、先輩からの指示に後輩 は「「踏み込む勇気」を持ってもらうこにおいていちばん大切にしているの なかった……ということがよくあ れたとしても、内容が全然伝わってい が「はい!」と元気よく返事をト い大工たちを指導する立場です。指導現在、私は匠弘堂の副棟梁として若

解消するよう心がけています え、コミュニケーションの行き違いを たら何度でも聞いてくれ」と若手に伝 つくりつつ、「わからないことがあっ だからこそ、聞き返しやすい空気を 先輩に聞き返すのは怖いと思いま

61

ほしいなと思います す若い人たちには、この勇気を持って大工に限らず、若くして職人の道を志よってはじめていい仕事ができる。宮 ′。でも、そこで一歩踏み込むことに

てよかったな」と心から思います

宮大工をする理由。はるかに多い。それでもしんどい日のほうが

年が経ちます。まさか自分がこんなに 宮大工になってから、もうすぐ二

> 事をされるんですね」と驚いてくださ らっしゃった方が「お寺のこんな部分説明会を開催しています。見学会にい 仕事でも同じだと思いますが) 大変なでした (笑)。宮大工の仕事は (どんな長く大工をやるとは思っていません 葉をいただくことも珍しくありませ 疲れさまです、ありがとう」と感謝の言 る声が聞こえるんですよね。「いつ」 をはじめて見ました」「こんなふうに工 百年に一度の貴重な機会を思い 戴する感謝の言葉がうれしいからで の考えもあり、頻繁に現場の見学会や 主さまや檀家さま、門信徒さまから頂 いものにしてほしい」という横川 れたのは、建物が完成したときに、施 ん。そういうとき、「ああ、宮大工になっ また、匠弘堂では「五十 。それでも私がここまでやってこらとやしんどいことのほうが多いで



後輩に対する思いなどを率直に至変化した仕事観、その後、戻ってきてから三年が経 った今、

> 覚悟は揺るがない。 自信を持つて言える。 ゥ ノだと、



という意識が強くなった。

徳島県のD寺の庫裡客殿新築工事でし 墨付けは木材の加工を行う前に、加工 にうれしかったことを覚えています。 付け」を任され、とても驚いたのと同時 いる現場で、有馬棟梁からはじめて「墨 た。この三年間でも特に印象に残って ′る部分に印をつける、とても責 匠弘堂に戻り、最初に携わったのが

62

気持ちが強くなりました。 て、もっと仕事を頑張ろう。 婚して家族を持ち、守るべき人ができ を形成した要因のひとつ(先輩方 なく建て方ができた経験は、今の自分 この仕事をやり遂げ、七 - 卜にも感謝しています)。 また、結

限ったことではない。それは造形に人の仕事を「綺麗」だと感じる。

進めることは、いい仕事をするために 不可欠だと思います 気を配り、チー の弱点は決して許されません。全員が 何百年も残るものになるため、品質上 いると実感。特に社寺建築は、何七 て、建物は施主さんがいて、設計・ ようになりました。見ることによっ 以来、たくさんの方々の姿を観察する 事を見に行きなさい」と教わりまり メンバーに限らず、いろいろな人の仕 ん、大工さん、瓦屋さん、左官屋さん 高校を卒業して匠弘堂に入社して間 ・と、多くの方の協力で成り立って -ム一丸となって作業を

が行った仕事の丁寧さに、今よりも多が引き締まります。そして、ほかの人 だな」と感動する仕事が増えたんです造形や所作、道具の使い方など「綺麗 匠弘堂のメンバーを見ていると、 を意識するようにしました。すると を知ってから、感情を研ぎ澄ますこと が感動せよという言葉です。この言葉 [>]感、が一番好きです。 これは、まず已 ももっと丁寧な仕事をしなければと気 岡本棟梁の「十二の教え」の中では

「気づき」を後輩に。

事の話題ばかりで、やはりみんな本当のですが、特に副棟梁の髙橋さんとはのですが、特に副棟梁の髙橋さんとは に仕事が好きなんだなと感じます

ます。ただ、後輩のいい仕事を見つけ 直接伝えるようにしています。 たら、なにがどうよかったかを本人に ない部分もまだまだあるなと感じてい る立場になりました。先輩として至ら 匠弘堂に戻って三年、後輩を指導す

輩が悩んでいたらすぐに気づいてあげかったです。僕も髙橋さんのように、後 うな存在になりたいと思っています
 てくれているんだな」と本当にうれし に声をかけてくれて、「僕をしっかり見 軽くなりました。口に出していないの さんが気づいて話を聞いてくれて心が 僕が悩んでいるときも、いち早 的にも憧れの先輩がたくさんいます 堂には技術面はもちろんのこと、人 のは、先輩方の影響が大きいです。 後輩を積極的に褒めるようになった れる、遠慮なく話を

人間性を磨くこと。

あらめて、宮大工の仕事をとても誇

るためには、技術を磨き続けるのはもちのは「この人に任せたら大丈夫!」とのは「この人に任せたら大丈夫!」とのはいいまないです。目指しているりに思っていますし、ずっとこの仕事 だという考えに辿り着いています。 ろん、「人間性」も育てていくことが必要

んな仕事でも丁寧に、自分の考える「キ いと思っています レイな仕事」ができるように頑張りた に近づいていきたい。そのためには、ど い仕事を積み重ね、一歩ずつ理想の姿 間の豊かさを培っていきたいと思いま 本棟梁の教えを心に留めて実践し、 にも信頼される宮大工になるため、 匠弘堂の中だけではなく、お客さま 日々の細かなこだわりや、小さない

弘堂の名に恥じぬよう、日々コツコッ 思いと誠実さを持っています。僕を 匠弘堂は全員、お客様に対する強い





宮大工 島新吾

建築全体 知る努力 続け ていきたい たを を ではなく、

5のころから木工が大好きで、

宮大工になりたいなら、京都で修業しための工業高校に入学。そこで宮大工ための工業高校に入学。そこで宮大工の存在を知り、鎌倉の棟梁に「本気での存在を知り、鎌倉の棟梁に「本気での存在を知り、鎌倉のでいるいるい 」とアドバイスされ、匠弘堂の

持っています。入社二年目のタイミン僕は大工ですが二級建築士の資格を グで取得したのですが、仕事が終わっ

> 建築士の知識には、宮大工の仕事に関 勉強しなあかん」とお休みをくれて、 た。試験の直前には、社長が「ちゃんと 間に勉強したりとコツコツ続けまし も、「宮大工にいかしたい」という思い うれしかった思い出があります てから家で勉強したり、会社の休憩時 ね。だから わってくることも結構あるんですよ **^資格。が欲しいという**

では、と思っています。現場だけではなない大工には、いい仕事はできないの設計がやっていることを理解してい 知る努力を続けていきたいです 中するのではなく、建築全体のことを れからも、〝大工〟という仕事にだけ集 いることもプラスに働いています ければなりません。また、法規を知って 建築全体のこともわかっていかな

自分もお寺や神社を支える仕事ができで関西のお寺巡りをしているうちに、持ちはじめたのは高校生のとき。趣味持ちはじめた工」という仕事に興味を たらいいなと思うようになったのが

ですが、初代の岡本棟梁の言葉を実践自分が好きだからというのももちろん るなどして、道具を大切にしています 日でも刃を研ぎ、錆びないよう油を塗 入れも なり、調整が必要となります。道具の手 道具は使っているうちに切れ味が悪く だよなぁ」と言われるほど (笑)。大工 宮大工からも「義久は本当に道具好き になっていきました。社長やまわりの 具を本格的に扱うようになるとあっと のは「大工道具」の存在でした。大工道匠弘堂に入社して、まず新鮮だった いう間に愛着が湧いて、道具が大好き 道具の手入れを念入りにするのは、 仕事のうちですが、僕は、休みの

> 匠弘堂には高校を卒業したばかりのきるような気がします。 んと手入れがなさ

ことも増え 思ってもらえるような、頼れる大工をキレイないい仕事をしてくれる」と してこれからも頑張ります んました。「この人に任せたら 入ってくるので、教える



目指 丰 な仕事を

宮大工 義

2016年入社







まだ経験も浅く、勉強の毎日ですが、るなど、いつも「木」と接しています。たり、ケヤキの角材で小物入れをつく るにも関わらず、休日も靴箱をつくっ「木」が大好きで、毎日「木」を触ってい叶い、宮大工になりました。とにかく 諸先輩のおかげで少しずつ成長して

子どものころから大工に憧れ、念願

谷 本 慶介

2018年入社

背中を追って、

ど、宮大工職人として当たり前のように にできた、イメージ通りに進められたな るなぁ、と実感しています。寸法通り 仕事をこなせた瞬間がうれしいです

解できず、 多く、学ぶことがたくさんあります まで聞き返して教わり、自分の血肉に 合ってくれるんです。「わからないこと あるとき、藤井さんの意図を正しく は自分の言葉で説明できるようになる も藤井さんは僕が納得するまで向き 大ベテランの藤井さんと組む機会が 行き違いがありました。で

する」と学び ――これは、後輩たちに 目標は、匠弘堂の宮大工として生き ていくうえで、「これだったら絶対に負 けない」という強みを持つこと。そのためには、目の前の仕事に丁寧に向き合 を背負うひとりとして精進します に負けないほど、僕も後輩にとって、誇 れる先輩、になれるよう、匠弘堂の看板 うこと。自分を育ててくれる先輩たち

KYOTO」の告知をたまたま見かけ、た。Twitterで「DESIGN WEEK 堂に入社する!」と決めました。 のメリハリを感じられる空気が、とて 常に真剣そのもの。やさしさと厳しさ 事に向かう姿勢は、とことん真面目で で、取っつきにくさや、怖さがいっさ さんは親しみやすく話しやすい雰囲気 象を抱いていましたが、匠弘堂のみな 感じたのは、職人世界のイ いないことに驚きました。もちろん仕 ンップに参加することになったのです。 �心地よく、「大学卒業後は、絶対匠弘 ^。当初、「職人さんは怖い」という印 試しに働いたことで一番ギャップを

匠以 心地よい空気。 五堂ならではの ハリを感じられ しさと厳 しさの るる

輩たちの仕事ぶりを見ていると「もっ

日々仕事を教えてもらいながら、先

といろんなことができるようになりた

びや緊張感は、今の僕にとってかけが「伝統に直接携わっている」という喜持てるようになる」ことが目標です。持てるようになる」ことが目標です。 て言えるよう、目の前の仕事を大切に、 本の伝統を守っているぞ」と胸を張っえのないもの。いつか「自分の手で日 きと取り組んでいきた





仕事の流儀



2020年入社 山梨県出身 宮大工に。 自信を持って言える伝統を守っていると 鈴木梭生

ながった。清水寺や銀閣寺などの有名良でした。清水寺や銀閣寺などの有名良でした。清水寺や銀閣寺などの有名な神社仏閣を見てまわる中であれた京都・奈 匠弘堂に就職してから、はじめての 「カッコいい!」と思い、大工

事を経験中です。初の現場は兵庫県尼 ひとり暮らし、はじめての宮大工の仕

> 事はとても丁寧でこだわりがあって、 その分終わったときの達成感は大き 慣れない作業はとても大変でしたが、崎市にある本興寺というお寺でした。 と思えるので、早 仕事の姿勢も作業も全部がカッコい かったです いて「名実ともにカッコいい宮大工」に にいるからこそ、「僕もこうなり 目標となる、憧れの先輩が身近 匠弘堂のみなさんの仕 く先輩たちに追いつ

まだまだ、ひよっこではありますが まだまだ、ひよっこではありますが 「日本の歴史や伝統を僕たちが守っているんだ」という宮大工だからこその自負と責任を、常に忘れないようにし してるという人がいたら、「匠弘堂の仕してるという人がいたら、「匠弘堂の仕してるという人がいたら、「匠弘堂の仕 ぞ」と伝えたいです

目指した理由。

建築物について家主さんが魅力を語る つれ、建築に興味が湧きました。 というもので、それぞれに思いやス た。建築に興味を持つようなったきっ 黙々となにかをつくることが好きでし 小さなころから工作や絵を描くなど はテレビ番組。こだわりのお家や -がたくさんあることを知るに

ろう」と建築の道を志しました。当初は し、災害にも負けない強い建物をつく ショックを受け、「家主の希望を形に に飲み込まれる様子を見て大きな その後、東日本大震災で家々が濁流

> のような伝統建築に興味を持つように日本建築史を学ぶうち、町家や古民家住宅建築を目指し大学に進学。しかし、 就職活動で匠弘堂に出会い、技術や

えをはじめ、諸先輩方の仕事への姿勢日々感じているのは、岡本棟梁の教 り、念願叶い匠弘堂に入社 とに感動。社寺建築への思いがたかま と施工の両方、で大切にされているこ 道具や知識、知恵の積み重ねを 人たちから受け継がれてき

社員全員が、ほかの人に思いやり

ますます精進します。

てくださり、私ももっと先回りということでも、先輩が手を差 持った匠弘堂の先輩方の役に立てるよ への強い信念と活気あふれるパワ 信も盛り上げたい。良質なモノづくり を伝えるためにSNSを含めた情報発 ですが、設計技術者として一人 けるようにならなくては、と努力 です。新人である私がやらなくては、を持って接していることの素晴らしさ ること、宮大工の仕事や匠弘堂のよさ 毎日です。今はサポートの役割が多い







黄川公公

成形まで責任をもって統括してきたという歴史があった。て「大工」なのだ。「大工」には各専門職人をまとめ、最終完ねるトップのことを指した。だから〝工の上に大〟がつい明治維新前の時代、「大工」とは本来建築職人である工を束



知っとるか」「横川君、『匠明』って

規格化されたパーツが理路整然と並び、 このことで、自分自身が大工職人以外の分野 積もり)し、原寸図(規矩術)をマスター 司から教えられた。そこに記された五意達者う桃山時代にまとめられた木割書の存在を上れな設計事務所勤務時代に、「匠明」とい 学問として学ばなかった私に、ここでも力を 上げられている。機械設計の経験は、 ころでもある。 成する部材は、特にその傾向が強く、 と直観したのだ。社寺建築の中でも屋根を構 業内容が、「工業製品の機械設計と似ている」 ンブリして最終製品に組み上げる。このざっ 建築を理解する場において非常に力になっ で社寺建築に向かうことの正当性に確信を持 彫刻もできたのだ。まさに目から鱗であった。 は各種仕事はもちろん、図面も描き、積算(見 合」「手仕事」「絵様」「彫物」。つまり大工と 極意があった。 という、 つも社寺建築にメカニカルな部分を感じると つことができ、大いに背中を押してくれた。 くりとした製造工程とつくるための設計の作 私は大学時代に機械工学を専攻し、 - カーでの設計経験があった。これは社寺 素材からつくり出した各パーツをアッセ 大工がマスターしなければならない 屋根を支える斗栱、化粧垂木、 五意とは「式尺の墨かね」「算 建築を 家電 Ļ

70

与えてくれた。

社寺建築の魅力

築では、明らかに大きく異なるところがある。ただし私が知るところの工業製品と社寺建

それは時間軸である。

宮大工が生み出す社寺建築は、先人からの宮大工が生み出す社寺建築は、先人からのはじまり、適材適所に配置され、解体修理もできるようにつくられる。そのため、長年にわたり保存維持することが可能で、法隆寺のおで以上のように1300年以上の命を今につないでいる事例もある。

いっぽう、残念ながら現代の工業製品にはこの発想が希薄なのだ。資本主義社会における高度なテクノロジーの一部は、「より便利に、より安く」をモットーに世の中に大量にに、より安く」をモットーに世の中に大量にことが「モノの価値」を大幅に低下させ、「モノ」を大切にする意識をも失わせた。

大いなるパワーと魅力を感じざるを得ないた者がこの世にいなくなっても、なお、生き続ける社寺建築。生きるものすべてがなし得た者がこの世にいなくなっても、なお、生きたがる社寺建築。生きるものすべてがなし得たがない、永遠の命を封じ込めた社寺建築。たずさわった。

71

師匠の教え

教え

宮大工と設

こ気配りをせなあかん。えるところは当たり前、見えないところがが、なかでもとりわけ匠弘堂のモノづかが、なかでもとりわけ匠弘堂のモノづいたが、なかでもとりわけ匠弘堂のモノづいたが、なかでもとりわけ匠弘堂の

手を抜いてはならぬ、という教え 「よいでは意識のあるなしに関わら 住宅れた内面部分を必ず映し出してしま など、最低でも200年以上の耐久性 現場に、最低でも200年以上の耐久性 現場をおろそかにせず、見えないと くりでは意識のあるなしに関わら 住宅ががった。だが、表に出てくる品 匠は、おいてはならぬ、という教え はず

で見つけ、誇らしく思えたのが懐かでもいる。名刺を作成した後日、偶然にでい会にいる。名刺を作成した後日、偶然にでいった。 お前を作成した後日、偶然にでいいる。名刺を作成した後日、偶然にでいいる。名刺を教えは匠弘堂の名刺の裏にも印 結果

世界の場合ではました。 はいる当を立ち上げる正前のこと。ある仕事 中に有馬と私に向かって、師匠が「大工と図 中に有馬と私に向かって、師匠が「大工と図 がてもらった日だったのかもしれない。 を がてもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。 がでもらった日だったのかもしれない。

。建築家としての技量を持ち合わせた師。建築家としての技量を持ち合わせた師、ころで私が経験したふたつの業界、製造ころで私が経験したふたつの業界、製造と建築現場の双方に共通して起こっていとても残念な問題があった。それは設計とす側の対立と相互不信だ。
手側の対立と相互不信だ。
として品質よりもコストや工期を優先せを得なくなるという負の作用をもたらしとして品質よりもコストや工期を優先せを得なくなるという負の作用をもたらしたのだ。建築現場でも、設計事務所と建たのだ。建築現場でも、設計事務所と建たのだ。建築現場でも、設計事務所と建たのだ。建築現場でも、設計事務所と建たのだ。建築現場でも、設計事務所と建たのだ。

公堂ではこの大問題を解消するために

宮大工ともに25年以上社寺建築にたずさわってきた経験と機械設計の経験から、私なりの設計業務に対する信条がある。これから社寺建築にたずさわろうとする未来の技術者に伝えたい。 と・構造(耐久性)をフトくキンめることである

1 設計とは意匠・機能・構造(耐久性)をその時々でバランスよくまとめることである。

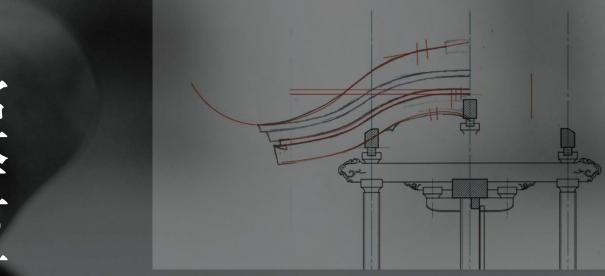
設計のこと。 設計のこと。

私の設計信条

- 2 コスト意識を持つこと。材料の拾い出しと見積りも設計の大切な仕事。
- 3 1本の線に責任を持つ。1本の線の有無で意味がまったく変わる。
- 4 寸法はつくり手のことを意識して書き込むこと。 現場で電卓を使わせるな。
- 5 絶対につくれる、組める設計図とせよ。絵に描いた餅はいらない。
- 6 曲線はフリーハンドに勝るものはない。自らの手で決めよ。
- ります。 日常的に設計のヒントを収集し、 現場からのフィードバックで品質を高めよ。
- 8 時には決まったことでも見直し、変える勇気、 提言する勇気を持て。
- 原寸図を極めよ。原寸図はつくり手との重要な会話ツールである。
- 📗 経験値は絶対である。歴史を軽んずるなかれ。

すすが必要なことま言うまでもない。 関係は、互いのリスペクトと同時に技術かせた。どちらが上でも下でもないフェせる「一心同体の協力者」とする文化を」ととらえ、大工と設計者は互いに力を「ことは、設計デザインや積算をも含めた

タールである。 -----な時ないにない。 技りフェーー



匠弘堂宮大工が果たすべき仕事がある。

- ●祈りを込める仕事(新築建替)
- 歴史をつなぐ仕事 (修理修復)
- 過去をよみがえらせる仕事 (復元復原)

に周囲への気配りを大切にする

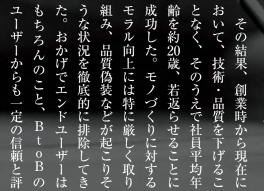
中には常

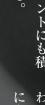
建築と

ど私、

そして私自身は、







設計のこと。

息



梁のこと



代表取締役

にピタリと合っていました。

したバ

ランスもとてもよい

「見て倣え」という部分とがあって、

私

あって。フリ

-に任せてくれる部分と、

岡本棟梁だからこそできた部分が

横川総 一郎

匠で。

私の仕事の環境というのは、

ある

思えるほどに人間味あふれる魅力的な師

らこちらで話して

いるものの、

実際に岡

本棟梁と仕事をしていない、

会ったこと

78

のことは、

日頃から

社員をはじめ、

八へのやさしさは本当に素晴らしく。

岡本棟梁の技術と仕事

への姿勢、

二代目棟梁

有馬

悔しいくらい。でもね、こんなふうにいれをみんなに味わってもらえないことが

だったね。岡本棟梁の技術のすばらしさ、

も言っているけれども本当にすごい。

人間性のやさしさ……というのは、

がない若手メンバ

が増えてきて。

せっ

X

岡本棟梁」を伝えたいな、

ځ

の記念誌なのだから、あらためて「人

有馬

今後、

こんな人には出会えないと

どんなにしんどくても……

起業して、

成長し継続しながら、

頑張り

続けることができたのは、

尚本棟梁の存在が欠かせないです

れど、

ようやくの二十年であり、

あっと

私も有馬君も同じ気持ちだろうけ

いう間の二十年だったなぁ。

あっとい

う間といえば、

あっとい

う間。お互い、

がむしゃらに頑張っ

てき

ましたね。

今こそ

あふれる間 本 棟 梁

有馬

プライベ

トはわがままというか

でも、

いや

ホンマ、

心臓が止まった。

そういったところも含めて愛らし

(笑)。そこにまた魅せられたというか。

- 宮大工は、

遠方の現場に入ると工

ミングな人柄で。

自由というか。

有馬

"岡本教(

と称されて。

んだけれども。

していると誤解されがちな

つも「岡本棟梁、

すごいんです

」と言

১

「もう寝る」と、

さっさと寝られて。

残った者だけで、

かなり盛り上がっ

て騒

いでいたら、

「うるさい

-く寝ろ、

棟梁は食事が終わって少しお酒を飲む

さらには民宿での宴会でも(笑)。

横川

われわれには、まさに神さまなの

有馬|

あとから聞い

てぞっとしました。

気消せ!」とめちゃくちゃ怒られた。

その場にいなくて本当によかった(笑)

だけれども、それだけじゃなくてチャ

るよね。

終業後は自由時間だけど、岡本

rを借りて生活もともにす

も言うけれど、

類まれなるセンスと卓越

した技術、

仕事への姿勢と人のレベルに

現在進行形で大好きです

Ĺ

何度も何度

人柄で大好きだったなぁ。

いや、

今も

に疲れて

ても、

明日の朝が早

くても

ことがうれしくてたまら 時に、こうした〝素〟

ない

有馬

- 当然**、**

お付き合いします。どんな

棟梁が釣りに行きたいと言えば…

、えば、

あの、

旅行のときに……

私たちなんだなぁ、

と思うよね。

しみじみ、

岡本棟梁がいてこその

結果、

楽しんだんですけどね。

そう

をし

その流れでわれわれも一緒に釣り

……堤防がある場所までクルマで送る。

有馬―ずっと話していられるほど、

エピ

がたくさんあって。

ひと言で私の身体が固まってしまって。 宿に着いた途端、 年の慰安旅行で「釣りの設定」を忘れて。 充分に知っているのにも関わらず、 「釣りはないんか」の

棟梁が根っからの釣り好きであることを

ある

ど、

「岡本さんがうらやましい。

自分の

板葺師さんがおっしゃってい

たんだけ

岡本棟梁と同世代の……

一流の銅

技術を若者に伝えられるんだから」と。

その方には弟子が

いなか

9

私がしくじりました(笑)。

私は、 その場にいなくてよかった。 出産立ち会いで不参加でし

有馬

たしね。 有馬 その姿を見て、

術を若手に伝えるには早いほうが 私自身、 自分の技

W

W

79

の姿を知って

応じて任せる目利きに感銘を受けると同







9

歳を取ってからと思いがちだけれど、そ横川―後進育成については、それなりに うことだね。 うなると伝える相手がいなくなる、 - ですね。そうした諸先輩を見たの

と思いました。

ていて。 有馬―岡本棟梁から引き継いだものを、 で「こんな人間おらん!」と思っている。 るけれど、私は有馬君のこともそう思っ 本棟梁のことをすばらしいと絶賛してい 継者というよりも、歴史の中、 ツを惜しみなく伝えているしね。 うちのメンバーのみならず、 手になりたい、 で、私自身は「伝えること、育てること」 の中の後継者をつくるために、その担い に重きを置いています。それは自分の後 - ホント、有馬君もかっこいい。岡 の大工さんらにも技術とスピリッメンバーのみならず、他社さんや いや、岡本棟梁とは違うタイプ と行動しています。 伝統文化

掲げている。 くって。そのなかに「宮大工の養成」を - 匠弘堂を登記するときに定款をつ 私も当初から、 教育は大事

> 伝みたいなもの。タスキを次の世代に渡 だから、それまでに伝えて、教えて……だと考えていて。人間はいつかは死ぬん にその通りだと思っている。 す〟というようなこと言っていて。 としなきゃ、 と。私の父親が ~人生は駅 まさ

有馬 かない、と。 と言っている者には、最高の技術が根付 術は身に付かない。「これだけでいいや」 た。そこに気持ちがないと、教わった技 れど……技術よりも気持ちを教えてくれ せい、こーせい」とは言われなかったけ - そうですね。私は岡本棟梁に「あー

ああ、 だからね、有馬君が休日に勉強会を開い 横川― そう。 社だなぁって思うよ。 会の練習などを匠弘堂スタッフだけでな く、ほかの人たちにも門戸を開いている。 原寸の描き方や、釿はつり、 自分の会社なんだけれど、 なんてすばらしいことなんだろ 心がないと絶対にあかん。 技能大 いい会

何人に伝えられるか、

それが自分の役割

ることが、 実践しようとしている。 つなげる義務があると、 なっている。教えることで力がついてい ほかの人たちに教えられるように - 最近ではうちのメンバーが成長し ん。 なによりうれしいです。 自分が受け継いだものを、 みなが意識して

人を教育

まず自分で考え、それを理解する

弟子で、 するということは永遠のテーマだと思い 横川さんも同じだろうけれど、 のひとつですから。じつは岡本棟梁の直 社寺をやっているのは私だけ。

ごいものがあるよね。自分がやってつ こと。 のができるようになった。この喜びはす りの仕事をこなしてくれて品質のいいも もある。その逆もしかり。 ればいい」というのは匠弘堂にはない。 くったものよりも、 つらいことがあれば、 - 若い子が成長してくれて、 これが大前提で「棟梁に従ってい 何倍もうれしい その分楽しいこと 期待通

> 会社に力がついたな、これで引退できる って (笑)

有馬 次の世代に渡すこと。 大工技術を正しく伝えて欲しいね。 も引退を目標にやっていますからね。 年……百年、千年と匠弘堂を続けて がいなくても、次の三十年、四十年、 - そうそう(笑)。私たち、 信じて任せられるようになって、 われわれ創業メン なにより





80































豊臣秀吉が造営した壮大かつ華麗な城郭風の邸宅――「聚楽第」。その名を冠する清酒を醸すのが、1893年(明治26年)創業の佐々木酒造だ。京都の中心である"洛中"の酒蔵として知られ、現在、佐々木 晃さんが四代目として蔵を守る。ご存じ、俳優・佐々木蔵之介さんのご実家としても知られ、また"猫社員"のかわいさも注目の的。

佐々木酒造

京都府京都市上京区北伊勢屋町727 https://www.jurakudai.com





未来へと とつなげる「宮大工」。 「蔵元」と、

頭が、 る。そしてまた、過去から受け継いだ技術を、 独立起業。初代棟梁である岡本 弘の教えに則り、 私自身はサラリ 深く思っている。 統的な社寺建築に施し、 かつ発展もさせながら社寺建築に携わり現在に至 続け、つなげる。 をつくり続けていらっしゃる。 を行いながら、 とつなげていかねばならない く異なるようだが、われわれ両者には、受け継ぎ、 佐々木社長も、 こちら佐々木酒造の佐々木 晃社長である。 横川がかねてよりお目にかかりたかった筆 今のニーズに応じて、 ーマンを経て、異業種に飛び込み、 という共通の使命がある。そう、 代々受け継いでこられた酒造り これから先の長い未来へ 、と常々考えている。 いっけん、まった 魅力的な品

佐々木 ご実家であるということも外せません。蔵之介さ 夢のようです。 史もさることながら、 せていただきました。 に共通の友人がいることから、 います。 佐々木さんのお兄さんでいらっしゃる? ― はい。二番目の兄です。本名は 《秀明 となると… 数年前のことですが、 私は三兄弟の末っ子で。 佐々木酒造さんといえば、 俳優の佐々木蔵之介さんの :ご自分が家業を継ぐとは 対談が実現するとは 思い切って申請さ フェイスブック その歴



継ぐこと、 続けること、 つなげること。

てました。 洛星高校から東大に進んだほどです。 小学生のときから飛び抜けて勉強がよくできた。 考えておられなかった? - ええ。兄のどちらかがやるもんだと思っ でも、 上の兄が、下 ・ふたりと違って、

父も、

長兄のことは「商売人じゃないな。学者的

ですから、

兄が継ぐという雰囲気で。じゃ、私は継がんでえなもんが向いているやろう」と。となれば、次の

興味はなかったんですか?

えんやなと。

佐々木 というのは厳しい商売ですから。 ているような景気のいい商売もありますが、 当初はとくに。世間には兄弟で取り合っ むしろ、 ちょっ

ていたでしょうね。それで、二番目の兄は、東京 とやりたくないな、 兄はふたりとも「自分がせなあかん」とは思っ ぐらいな気持ちでした。

農大に入り、そののち神戸大の農学部に進み、

山田錦の研究を卒論にしていました。

では、当然、継いでくれると……?

ん就職をして。 卒業後は帰ってくると。 大阪の広告代理店に勤めるんです でも、 いった

それも実家を考えてのことでした。

広告業が役立つとのお考えで?



佐々木 知ってもらうかが勝負ですしね。 んな買ってくれる」という時代でしたが、昨今は、 お酒をつくることは当然で、それをいかに はい。 昔は、 「いいお酒をつくれば、

就職したのに… - そのためのマーケティング論を学ぶべ

芝居をやっていらしていて、玄人はだしで人気も なにやらすごい! その影響があったのかもしれませんが、 「ますだおかだ」の増田英彦さんがいらして。兄 佐々木 ― だったはずです。が、 たったら、兄が「俳優になりたい」と言い出した。 あったそうですね。 より先に会社を辞めて、東京に行かれたんです。 - 増田さんと蔵之介さんがいる会社って、 蔵之介さんは、 兄の同期入社に、 大学時代から しばらく



機械工具のメー 「まさか、 お勤めだったとは!」

に決められたという。 父親に「やれ、 てくれへんか」と言われまして。なので、私は、出ていました。そうした、ある日、「晃、酒屋、やっ に入り、新入社員のくせに、有給を使って舞台に 大学の演劇部の先輩が立ち上げた劇団 継げ」と言われたのではなく、兄

ーマンをやっていらした? - そのとき、晃さんは大学を卒業して、

> 丸のこなど機械工具を売っていました。 佐々木 「関西日立」という会社で、ドリルとか

んの道具は頑丈で、 なんともすごい共通点がありました。 それって、大工さんの道具です とくにモーターがいい。

て、値切られながらも、いろいろと学ばせてもらをまわっていましたが、そこに大工さんもいらし 佐々木 ― はい、「スライドのこ」ですね。 いました。おかげさまで、工具屋さんには、 ト商品です。私はルート営業で、機械工具屋さん 大ヒッ

と思います。 外の世界も知っているということが強みだ - 私もそうですが、自分のところだけで

だに可愛がっていただいてます。

佐々木-た、というのは大きいです。 実際に使う方々のリアルな声を聞くことができ まさしくです。 しかも、自社の製品を

佐々木 - すごい情報ですから、現場の声は。 ですね。大工さんらはたくさん教えて

とえば、 部に伝えるんですが、取り合ってもらえず。 くださるんですよ。そうして教わったこと……た 取り扱いの良し悪しや改善点などを開発

たる思いをしました。

けれどね。 長年、 なのわかってるわ」ということだったんでしょう 考えると、新入社員が熱く語ったところで、 開発をしてきた先輩にしてみれば、「そん

横川 つは私は、某家電メーカーで設計をしていたんで - どちらの気持ちもよくわかります。

92

次の商品開発をしているんですからね。 の?」みたいに。今なら、 こうしてほしい、 ですよ。「ここの部品が組みにくい。この形状を 組み立てる工場から、現場の声が上がってくるん 製品に携わるんです。 はあくまでも新製品を設計して、次から次へと新 同じようなことがやはりありまして。 当時はそう思えず。だって、すでに私らは、 ああしてほしい、 でも同じ敷地内の、 貴重な意見とわかりま こうならへん 私たち 商品を

よね。 佐々木 – そんなこと言われても……となります

ここは、 にか違和感を覚えはじめて…… ことばかりで、いつも責め合っていて。そのうち、 なにか違うな、という疑問とともに、 はい。 もう、 それぞれが自分の立場の な

なんですか?

佐々木 な仕事を目指して、 イントがあって。 ・そこには、もうひとつのターニングポ そこで、 佐々木さんが酒蔵を継ぐことになるわ それはまた別の機会に。 おもしろいことができるよう 宮大工さんを志すんです さて か?

働き方ができなかった。そんなことを父に話して いましたら、「お前、 - サラリーマン時代、 うちの酒蔵継いだら、 自分の理想とする 自分

るまで、

私には、やり続ける、責任があります。

それもおもしろいかな、と。最初は、、兄がこの思い通りの酒がつくれるぞ」と言われて。 やろうとは考えなかった? また違うことをやればいい、 ばらくしたら、兄が継ぐだろう、 てくるまで、 それも不思議ですね。ご兄弟で一緒に つないでおこうと思ったんです。 って思ってました。 そのとき私は、

佐々木 事をやってみたいなと、資格を取る勉強もしてま りでした。なのに、 したしね。 - まったく うん、 ほんと、ピンチヒッターのつも (笑)。 今もずっとやっている。 そのとき、私、 電気工

横川 けているというか。小さいときから、そんな感じ いいですね、この軽やかさは。力が抜

佐々木 面目。 ょ。 上ふたりは神経質で、物事に対してすごく真 三人兄弟の末っ子だからですかね。 私、 そうして継がれてやって来られて。 ちょっと気楽な部分があるんです

の世代のこともお考えに?

佐々木 か……誰が継ぐのかはわかりませんが、 兄には娘がいますので、家に誰かを迎え入れるの うので (笑)、次は、私の息子がするのか、 さすがにもう、 兄は帰ってこないと思 誰かが 上の

「誰かがやるまで、´゚やり続ける、責任があります」

ならぬ、 佐々木 ないといけない。売り上げがないことには、 は「続ける」ことなんです。そのためには、 くまでも、 いのか?」を常に考えるクセがついています。あ にごとにおいても「続けていくにはどう というプレッシャーでしょうか。 それは、 プレッシャーというものではなく、 佐々木酒造の、 継がねばならぬ、絶やしては いえ、私の第一の目標 したらい 売れ

大変です。 売れる商品づくり、 生み出す力……も

はできませんから。

佐々木 できませんからね。 「売れる商品」をつくりたいと思っても、

では、どのようにして?

つくったら、 たら、 佐々木 いています。 買ってくれますか」やら、「こんな商品を 販売店さんに、 どんだけ売ってくれますか?」と聞 「今、どんな商品があっ

ご自分がつくりたい、 ヒットさせたい

と思っての開発ではないんですね。

「こんなんつくったら売れるかな?」という商品 欠。そういうふうにして生まれた商品も多いです。 ヒアリングやディスカッションは不可

なるほど。お得意様のニーズに応じた 現場の声、 消費者の声を聴くとい

もありましたが、やはり売れない。

うことですね。

佐々木 これは、 そのときは実現できませんでしたが、 サラリ ーマン時代に学んだこ



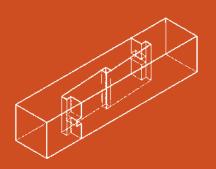
京都在住のイラストレーターさんによ るラベルもキャッチーな「ゆずリキュー ル」など顧客ニーズの高い品が並ぶ。

貴重な経験でした。 ドバックをしっかりすることの大切さを知

佐々木 戦前のことですが。 キーのブレンダーのような職に就いたそうです。 酒質をととのえる仕事、今でいうところのウイス る仕事だったんです。山口県の萩市出身で、 の灘で修業して、全国の酒蔵をまわって、 つはですね。 なんだか、 同じくよい経験でした。 私の父方の祖父が日本酒にゆかりあ ご縁を感じますね。 そうそう、 酒蔵の では、 神戸

次は乾杯の機会を。 ″つなぐ ″ 使命を持つ者同士として、

継ぐこと、 続けること、 つなげること。



京都府知事許可(般-3)第3建設工事業 大工工事業

(03 B) 田 田 田 田 田

専務取締役代表取締役

茂 総 及(宮大工棟梁) 総一郎 (設計室長兼任)

二十周年記念誌 匠弘堂の仕事の流儀

2021年12月31日 第1刷発行

有限会社匠弘堂 横川総一郎 著者·発行人

発行所 有限会社匠弘堂

〒601-1122 京都市左京区静市野中町413 ☎075-741-1888

印刷 大和出版印刷株式会社 製本 藤原製本株式会社

©2021 Soichiro Yokokawa, Printed in Japan https://www.kyoto-shokodo.jp

本書の写真および内容の無断転載を禁じます。

撮影 横川総一郎、匠弘堂スタッフ

有限会社匠弘堂

株式会社キャスター 渡 雄太

横川総一郎

bizhikeチーム

山﨑真由子

すべての匠弘堂スタッフ

有馬 茂

小笠原敏孝(STUDIO 桜) 山﨑真由子

福田希美 イラスト

匠弘堂

平成13年2月21日

匠弘堂

会社概要

装幀・デザイン 小柳英隆(雷伝舎)

Special Thanks to

匠弘堂を応援してくださるみなさま、匠弘堂を愛してくださるみなさま、 これから匠弘堂を知ってくださるであろうみなさま、匠弘堂スタッフの家族のみなさま……

